

# あなたがここにいるから・・・

## 新型コロナ対策について

新型コロナウイルスも随分と落ち着いてきたのか、それとも私たちが慣れてしまったのか、分かりませんが、確実に世の中は、「WITH コロナでいかに過ごすか」というように変わってきていることを感じます。

しかしながら、連日県内で感染者の報告がなされている状況です。学校では、これまで同様、基本的な感染対策を施しながら子供たちの大切な学びを進めてまいります。

保護者の皆様におかれましても、引き続き御留意いただくとともに、次の点について、御理解と御協力をお願いします。

- **同居家族に未診断の発熱等の症状がみられる場合は、児童の登校を控える。**  
(ただし、発熱等の症状がみられる同居家族に対し、**医師の診断や検査結果で陰性が確認できた場合には、児童は通常通り登校させてかまいません。**)

## 校庭のサクウも戸惑う・・・

さて、10月に入り、寒暖差の激しい日が続いています。保護者の皆様におかれましては、いかがお過ごしでしょうか。朝夕と昼間の寒暖差に戸惑っているのは、私たちだけではないようです。



先日、いつものように昼休みに子どもと遊んでおりましたと、校庭の桜の木にいくつか花が咲いているのを見付

けました。寒暖差の激しさに、自然も戸惑っているのかなと思ったところです。

この時期に一度咲いた桜の花は、春には、もう咲くことはないそうです。来年度の一年生を満開の桜とともに迎えるためにも、そろそろ桜の木に気付いてほしいものです。「春はまだだよ。」と

また、先週くらいから、ずいぶんと涼しくなりました。このまま冬に突入してしまうのかなとも思います。なんだか1年ごとに、個人的に大好きな秋が短くなってきているような気がします。春夏秋冬、違った4つの季節を楽しむことができるのは、我が国のよさ、誇りだと思っているのですが、「夏夏冬冬」そんな風にな変わってきているのかなと思う今日この頃です。

そのような中、運動場横に掲示しておりますが、本校が取り組んでいる「俳句」を通して、雪小っ子は自分なりの四季を感じてくれているようで、安心するとともに、とてもうれしく思います。

## 親子レク、お世話になりました。

10月15日(土)、PTA親子レクレーション「スポごみ」が行われました。

「スポごみってなんだ？」

恥ずかしながら趣旨をよく知らなかった私は、教頭先生に尋ねました。教頭先生曰く、「スポーツと同じように、決められた時間とルールのもと、チームに分かれてごみを集め、その量を競う競技です。会場は、うしろの浜です。」とのこと。

「なるほど、ようは、海岸に落ちているごみを子どもと一緒に拾うということだな。」

この甘い考えが間違いのもとでした・・・。

(裏面に続く)

(表面から続く)



当日は天候にも恵まれ、多くの児童、保護者の方の参加のもと、盛大に行われました。

まず、5・6年学年長の松岡様の進行により開会式が行われ、久保PTA会長様が御挨拶をされました。その後、3・4年学年長の



水口様からルールの説明があり、我が雪小が誇る3名の6年生による選手宣誓。

5年生の師範により、全員でラジオ体操をした後、いよいよ競技開始。

いやはや暑い。全身から汗が吹き出し、下を向くと眼鏡に汗がたまるほどです。長時間にわたる中腰の姿勢に、次第に体が悲鳴を上げてきます。しかも、砂浜に足を取られ、思うように身動きが取れません。

周りを見渡すと、どのチームも勝利を目指して一心不乱にごみを集めています。私だけが休むわけにもいきません。私も赤チームの一員として、精一杯に頑張らせてもらいました。



苦しみながらも、周りから聞こえてくる子どもたちのはしゃぐ声、親子で励まし合う声などがとても心地よく感じました。

40分の競技終了後、木切れ、ペットボトル、空き缶など、ものすごいゴミの山ができました。その量は、測定不能になり、勝敗の判定は私にゆだねられましたが、もちろん結果は、3チーム同点優勝。みんな仲良しの雪小らしいゴールとなりました。

コロナ禍にあって、各学年ともなかなか思うように計画ができず、今回、全校合同



での親子レクとなりましたが、結果として、学年の枠を超えてみんなでがんばり、みんなで楽しむといった雪小ならではの親子レクレーションとなり、私も存分に楽しませていただくことができました。各学年長さんをはじめ、関わってくださった保護者の皆様に心から感謝申し上げます。

最後に、校長のプチ身内自慢を一つ。

当日は土曜日でしたが、事務や養護も含め、本校すべての先生が自主的に参加しました。

これまでいろいろな学校に勤務しましたが、こうして先生方全員が参加するパターンは初めてでした。

身内ながらも、「雪小の先生はすごいなあ」とあらためて感じた次第です。

## 地域の方々に見守られて

10月17日(月)、本年度2回目の学校運営委員会、「つがねの会」が開催されました。

夜の開催にもかかわらず、多くの会員の皆様に御参加いただきました。

当日、会員の皆様は、コロナ禍における地域行事の中止により、雪小っ子の体験活動が失われている状況を鑑み、雪小っ子のために何かできないだろうかと真剣に協議していただきました。

地域の方に温かく見守っていただいている雪小っ子は、本当に幸せ者です。

(文責 校長)